

令和7年度 調布市立滝坂小学校 学校評価報告書（学校長 小林 美也子）

学校の教育目標

◎よく考え すすんで学習 ○強いからだ やりぬく心 ○人に親切 仲よく協力 (◎=今年度の重点)

目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像

目指す学校像【「つくる」「つながる」「つたえる」学校】

- ◇「つくる」……児童が変化する社会を主体的に生きるために必要な資質・能力を育成する教育活動を創造する。
- ◇「つながる」…①児童の学びと成長のために、教職員・児童・保護者・地域がつながる。
②互いに学び合い、助け合い、高め合いながら教育活動を進められるように、教職員同士がつながる。
- ◇「つたえる」…透明性の高い学校を目指し、教育活動の取組を積極的に保護者、地域に発信する。

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①道徳の授業を中心に自己肯定感・自己有用感を育み、児童の自己実現に向けた教育を展開する。また「は・あ・と」の徹底を全校で行う。	①授業規律を校内で統一し、定着を図る。秩序ある落ち着いた学習環境の中で児童の「よく考え」「真剣に学ぶ態度」を育成する。	①望ましい生活習慣を確立させ、明るく健康ではつらつとした毎日を過ごせるようにする。
	②校内委員会及び生活指導夕会で児童に関する情報共有を十分に行い全教職員が組織的に対応することで、いじめ問題や不登校の未然防止を図る。	②週案を作成し、授業時数の確保に努める。また一人1台端末を効果的に活用し、児童の興味関心高める授業を実施する。教科担任制の授業内容の充実を図ることで、児童の思考力・表現力を伸ばし、学力を高める。	②体育科の授業における運動量確保、外遊びの奨励、運動の日常化で健康な心身を育む。 ③学校教育活動全体を通して食育を推進し、食に関する指導及び学校給食の充実を図る。
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
① 「楽しく、充実した学校生活を送っている」肯定的評価94%	① 保護者アンケート「ICT機器を活用するなど授業の工夫を行っている」97%	①保護者アンケート「体力向上・健康を保つための指導」95%	
② 保護者アンケート「相手を大切に言葉遣いをしている」肯定的評価86%	③ 校内研究の児童アンケート「教科担任制による学習が楽しい・意欲が高まった」90%	② 体力テストの結果は昨年度より上昇した。 ③ 栄養士、担当教員が連携をとって食育の充実を図り効果を上げている。	
評価 学校関係者	・道徳の授業では、児童に考えさせたり話し合ったりする時間を十分に取られ、心の成長を促している。 ・児童はきまりを守り、友達と仲良く学校生活を送っている。校内委員会の対応をより充実させ、今後も引き続き、児童を温かく見守ってほしい。	・各学年とも学習規律を統一し、落ち着いて学習できるよう工夫している。教科担任制が浸透し、意欲を高める指導になっている。どの学級もICT機器を十分に活用している。児童には、引き続き情報モラルを十分に指導して行ってほしい。	・挨拶はよくできているが、個人差がある。みんなが挨拶できるようにしたい。今後もご家庭の協力をいただきながら進めていくのがよい。 ・今年度も体力向上に向けた様々な取組が見られたが、今後も一層体力向上を推進して行ってほしい。

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 保護者・地域との連携	5 言語環境の充実・読書活動の推進	6 特別支援教育の推進
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①ホームページにおいて学校からの発信を適宜行い、保護者・地域に日々の教育活動を周知する。	① 児童が日常的に言葉に触れ、言葉に興味をもつ環境づくりを行う。児童が日々正しい日本語に触れられるよう、十分に配慮する。	①様々な行事、日常的な活動の中で特別支援学級と通常学級との交流を計画的に行い、多様性尊重への理解を図る。
	②コミュニティスクールの円滑な運営により、地域の外部人材を有効活用する。	② 読書に関する計画を年度当初に立て、読書活動の推進を図る。	②ひだまり教室(校内通級教室)での指導を在籍学級での指導及び支援に生かしていく。
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
① HPを毎日更新することができ、学校内の様子を周知することができた。	① 言葉に関する校内掲示を計画的に実施することができた。	① 「心の教育」肯定的評価96%	
② 「地域と協力した教育活動」98%	②「図書館の活性化・読書活動の推進」96%	②通級の指導が支援につながった。	
評価 学校関係者	・ホームページによって、学校の様子がとてもよく分かった。これからもぜひ続けて行ってほしい。 ・地域の方が学校に大変協力的で、コミュニティスクールも充実した活動ができています。次年度も学校運営協議会の活動を充実させていく。	・「言葉のコーナー」をはじめ校内での日常的な国語教育が充実している。話し合い活動も活発で、児童は言葉に親しんでいる。 ・図書に関する取組が多岐にわたっている。「ダンボの会」の協力もあり、読書活動が充実している。	・特別支援学級が通常学級と共に行事を行うことによって大きな成果が見られた。今後は一層交流が深まるように活動内容をより工夫して行ってほしい。 ・通級の指導法は大変参考になる。児童の困り感を解消すべく今後も効果的な指導法を教えてください。

人材育成・組織運営

自己評価	ア) OJTの充実……… 担当主任教諭をリーダーとし、多彩な講師陣を迎えて校内OJT研修を毎月1回定期的実施。着実に成果が上がった。 イ) 校務分掌の計画的推進…… 「運営委員会」を中心とした組織運営が十分に機能し、職員会議・職員夕会の回数を減らし、合理化を図ることができた。 ウ) 服務規律遵守の徹底……… 計画的に研修を実施することで服務事故0を達成した。服務規律を遵守することの大切さを十分に周知できた。 エ) ライフ・ワークバランスの推進… 教科担任制、SSSや副校長補佐、ボランティア等を有効活用し、在校時間の縮小を図ることができた。
評価 学校関係者	・校内研究やOJT研修が、授業力向上につながった。アンケート等からOJT研修の内容を決めたので、内容が多岐にわたることになり有益であった。 ・研究熱心で誠実に職務に取り組む教職員が多く、服務規律がしっかりと守られている。引き続き服務事故0を目指してほしい。 ・コミュニティスクールとしての取組は有意義であった。地域力の活用で、より一層の教育活動の充実と共に在校時間縮小を図ってほしい。

中期的な経営目標の達成状況

1	・道徳は25の内容項目で十分に指導できた。人権教育を基盤とし、全教育活動を通して推進できるように内容を工夫し、今後も計画的に指導していく。
2	・教科担任制の校内研究を行い、今年度も大きな成果を上げた。ICT機器を十分に活用しながら、一層の基礎的・基本的な知識や技能の定着を図っていく。
3	・望ましい生活習慣の定着は定着しているが、引き続きご家庭の協力を得ながら指導する。運動量は上昇しているが、内容を工夫し運動量確保を目指す。
4	・地域の人材については昨年度以上に活用することができた。CSの取組は大変充実していた。今後も一層の人材活用を図り教育活動を充実させていく。
5	・言語環境の充実・読書活動の推進は、地域の方々のご尽力で順調に進んでいる。今後も教育活動全体を通して言語環境の充実・読書活動の推進を図る。
人・組	・OJT研修を一層充実させ、更なる授業力向上を図りたい。校務分掌の改革は成功し、今年度も働き方改革の推進につながった。

次年度の重点課題

○一人1台モバイル端末やICT機器の一層の活用と授業力向上・情報モラル教育の推進 ○教科担任制の内容の充実及び授業力向上
○運動量の確保・運動の日常化・ちょこプラ1運動の充実 ○OJT研修の一層の充実 ○コミュニティスクールの円滑な運営と発展

